

会員の広場



人生の折り返しを迎え、 改めて思うこと

田中 進

「人生100年時代」と言われる中で、私も気がつけばその折り返しを過ぎました。

かつては「50代ともなれば立派な大人」と思っていました。がいざ自分がその年齢になると、まだまだ学ぶことばかりです。心の中は若い頃と変わらず、ただ身体だけが少しずつ年相応にアップデイトされている——そんな感覚で日々を過ごしています。

これまでの道のりを振り返ると、決して平坦なものではありませんでした。20代で地理情報システム（GIS）という分野に出会ったことが、私の人生を大きく変える転機となりました。未知の世界に魅了され、技術を学び、挑戦を重ねるうちに「自分の力で社会の役に立ちたい」という思いが強まり、ついには会社を設立するに至りました。多くの苦労もありましたが、その経験こそが今の私の原点です。

若い頃は結果ばかりを追い求め、思うようにいかないと他人の

せいにしていた時期もありました。しかし、年齢を重ねるにつれて、人とのご縁や信頼こそが何よりの財産であることを実感しています。成功も失敗も、すべてが今の自分を形づくる糧となりました。

そして今、人生の折り返しを迎えたからこそ、改めて「挑戦する心」を大切にしたいと思っています。挑戦とは、何か大きなことを成し遂げることだけではなく、日々の小さな一歩を積み重ねること。新しい知識を学ぶこと、人の話に耳を傾けること、地域活動に関わること——その一つひとつが自分を成長させ、次の世代へつなぐ大切な行動だと感じています。

倫理法人会での学びが、私を大きく変えてくれました。「自分が変われば、まわりも変わる」という教えを胸に、まず自らの心と行動を正すことを日々心がけています。すると、不思議と周囲の空気が変わり、人との関係もより良い方向へ動き出すことを実感してい

ます。

また、納税貯蓄組合連合会やライオンズクラブなどを通じた社会奉仕活動にも力を注いでいきたいと考えています。地域に恩返しをし、人の笑顔を少しでも増やすことができれば、それほど嬉しいことはありません。

とはいえ、私にとつての第一の使命は、やはり「仕事を通じて社会に貢献すること」です。会社の発展を通じて地域を支え、技術と誠実さで信頼される企業を目指し、これからも努力を続けてまいります。

これからの半生は、これまでにいただいた恩を地域や人へ少しずつ返していく時間になりたいと考えています。感謝の気持ちを忘れず、前向きに、新しい挑戦を楽しみながら歩みを進めてまいります。

最後になりますが、この文を最後までお読みくださった皆さまに、心より感謝申し上げます。